

薬食機発0331第5号
平成26年3月31日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬食品局審査管理課
医療機器審査管理室長
（ 公 印 省 略 ）

在宅医療において実用化が期待される医療機器等について（情報提供）

今般、標記について一般社団法人日本医療機器産業連合会会長、米国医療機器・IVD工業会会長、欧州ビジネス協会医療機器委員会委員長宛て、別添のとおり情報提供しましたのでお知らせします。





薬食機発0331第4号
平成26年3月31日

一般社団法人日本医療機器産業連合会会長 }
米国医療機器・IVD工業会会長 } 殿
欧州ビジネス協会医療機器委員会委員長 }

厚生労働省医薬食品局審査管理課
医療機器審査管理室長



在宅医療において実用化が期待される医療機器等について（情報提供）

高齢者の増加、価値観の多様化等に伴い、希望する人ができる限り住み慣れた家庭や地域で療養することができるような環境を整備することが求められており、在宅医療の推進は喫緊の課題となっています。

厚生労働省では、在宅医療を支える体制整備の一環として、平成25年1月に在宅医療に従事する関係者に対して在宅医療に関する医療機器等のニーズ調査を実施し、その結果を「在宅医療の推進のための医療機器等の実用化促進に関する検討会」（平成26年3月7日）において別添のとおり、とりまとめました。

については、貴会員に対し本調査結果を情報提供いただき、今後の医療機器等の開発に当たって参考としていただきますよう、お願いいたします。

なお、調査結果の詳細については「在宅医療における医療機器等ニーズ調査報告書（平成25年3月）」として厚生労働省のホームページに掲載しています。在宅医療の現場の声を多く記載していますので、併せて御参照ください。

・「在宅医療における医療機器等ニーズ調査報告書（平成25年3月）」
（ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000042670.html> ）

(別添)

実用化が期待される在宅医療機器等について

厚生労働省では、平成 25 年 1 月、在宅における療養を支える体制整備の一環として、在宅医療の現場でニーズの高い医療機器等の実態把握を目的とした調査を実施しました。

本調査の結果、在宅医療におけるニーズの高い医療機器の例として次のような医療機器があげられました。

1. 利用する機会の多い医療機器

- ・ 小型、薄型、安価な自動解析機能付きパルスオキシメーター、ポータブル心電図
- ・ 通信機能付き検査機器
(電子カルテ等との連動による記録・保存が可能なもの)
- ・ 歯科用ユニット等(静音、軽量、小型で吸引・注水が一体型のもの、頭部固定が容易なもの、照明機能付のもの)
- ・ 医科及び歯科の訪問診療用の X 線撮影装置、超音波画像診断装置
(より小型、軽量で結果がすぐに確認できるもの) 等

2. 災害時対応型の医療機器

- ・ ポータブル吸引(痰)器(軽量、小型、吸引力強化及び調整可能機能等を有するもの)
- ・ 停電時対応型の酸素濃縮装置(酸素ボンベへの即時切り替えが可能、充電式のもの)等

3. 高齢者、障がい者や多疾患に罹患している方等に配慮した医療機器

- ・ 測定部位の変形や血流低下状態でも迅速に結果が出るパルスオキシメーター
- ・ 服薬支援機能付き吸入器
(残りの回数をわかりやすく表示するもの、視力障がい者向けの音声ガイド付きのもの)
- ・ 音声ガイド付きの血糖測定器(カートリッジ等による簡易操作型のもの)
- ・ 音声ガイド付きの人工呼吸器、酸素濃縮装置 等

【参考】調査の概要

目的: 在宅医療に携わる方々が日頃感じている在宅医療における必要性の高い医療機器等を把握すること

実施時期: 平成 25 年 1 月

対象: 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、在宅療養支援歯科診療所、薬局(公益社団法人日本薬剤師会認定の在宅医療サポート薬局)、訪問看護ステーション、小規模多機能型居宅介護事業所(計 15,277 施設、うち回答 3,203 件(21.0%))

※「在宅医療における医療機器等ニーズ調査報告書(平成 25 年 3 月)」は以下の HP に掲載しています。在宅医療の現場の声を多く記載していますので、具体的な医療機器開発にあたり、適宜ご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000042670.html>